

17 剣 道

大会名称 令和6年度宮崎県高等学校新人総合体育大会 第66回剣道競技大会
兼九州選抜・県選抜大会予選
主催 宮崎県高等学校体育連盟・宮崎県教育委員会
後援 公益財団法人宮崎県スポーツ協会・宮崎県剣道連盟・西日本新聞社
主管 宮崎県高等学校体育連盟剣道専門部

- 1 期 日 令和6年11月8日(金)～9日(土)
- 2 競技日程 11月 8日(金) 9時40分 開会式
10時00分 競技開始 ・女子個人戦
・男子個人戦
・表彰式
11月 9日(土) 9時00分 開始式
9時15分 競技開始 ・女子団体戦
・男子団体戦
・閉会式
- 3 会 場 小林市 市民体育館
- 4 参加資格並びに参加人員
 - (1) 宮崎県高等学校体育連盟に在学している生徒であること。
 - (2) 年齢は、平成18年4月2日以降に生まれたものとする。ただし、出場回数は同一競技2回までとする。
 - (3) チームの編成は全日制と定時制の混成チームは認めない。
 - (4) 転校後6ヶ月未満の者の参加を認めない。ただし、一家転住等止むを得ない場合は所属高等学校長の申請により県高体連会長の認可があればこの限りではない。
 - (5) 参加する生徒はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の参加申込書を必要とする。
 - (6) 参加資格特例
上記(1)に定める生徒以外の参加については開催基準要綱とする。
- 5 参加人員
 - (1) 団体試合 ・男子：監督1 選手5 補欠3の各校1チーム
・女子：監督1 選手5 補欠3の各校1チーム
 - (2) 個人試合 ・男子：各校4名
・女子：各校4名
- 6 競技規則
(一財)全日本剣道連盟の「剣道試合・審判規則」「同細則」及び(公財)全国高等学校体育連盟剣道専門部「申し合わせ事項」「新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合審判法」による。
- 7 競技方法
 - (1) 団体試合は予選リーグを行い、決勝トーナメントを行う。(ただし、参加校の数が少ない場合は変更もありうる。)予選リーグ戦の順位は、チームの勝ち3点・引き分け1点・負け0点とし、得点・勝者数・取得本数の順で決定する。全て同数で順位が決定しない場合は、任意の代表者戦を行う。
 - (2) 個人試合はトーナメント法によって行う。
 - (3) 試合時間は次の通りとする。(ただし、参加校数及び試合方法により変更もありうる)
団 体 男女共 4分 3本勝負 引き分け。
決勝トーナメントにおいて、勝者数・取得本数が同数の場合は、任意の代表者戦を行う。
代表戦 4分 1本勝負 勝負が決するまで4分区切りの延長戦を行う。
個 人 男女共 4分 3本勝負 勝負が決するまで4分区切りの延長戦を行う。
- 8 引率・監督
 - (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める該当校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。
 - (2) 監督・コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
- 9 競技上の注意
 - (1) 申し込み後の登録選手の変更は認めない。
 - (2) 登録選手の変更は以下の場合のみ認める。
 - ① 大会初日の監督会議開始前までに学校長の承認を経て、選手変更届を専門委員長に提出し許可があったときとする。

- ② 試合開始後に事故を生じた場合及び体調不良が認められ、選手係に届出て認められた時とする。
- ③ 補欠出場は欠場者の位置に入れること。
- ④ 一度退いた選手は再出場することはできない。
- ⑤ 個人戦については申し込み後の交替は認めない。

1 0 審 判

- (1) 主管団体から委嘱された者があたる。
- (2) 参加学校職員の中から委嘱された者があたる。

1 1 表 彰

団体・個人共に3位まで表彰する。

1 2 申し込みについて

- (1) 所定の申込用紙に必要事項記入の上、1部作成し下記の要領で申込むこと。
- (2) オーダー表を作成し、申し込み用紙と同封するか監督会議時に提出すること。ただし、最終オーダーの提出締め切りは、試合当日の朝、受付時とする。
オーダー表は、縦21cm、横10cmの用紙に学校名、選手の姓を縦記入し、選手分を作成する。
- (3) 人員不足の場合
 - ① 3人の場合 中・副・大の位置に入れること。
 - ② 4人の場合 次・中・副・大の位置に入れること。
 - ③ 人員不足のチームと対戦する相手チームは試合をしない選手を選出することができる。
- (4) 申込の書き方
 - ① 学校番号は、高体連年報の大会参加人員一覧に書いてある番号を書く。
 - ② 監督は種別の欄に学校職員（講師も含む）なのか外部指導者なのか選択して入力する。
 - ③ 外部指導者とは、常時部活動を指導されており、各種大会に引率責任者学校職員と共にチームに帯同する、学校長が認めた者のことをいう。
- (5) 締切期日：令和6年10月11日（金）必着。締切期日後は一切受け付けない。
- (6) 申込みは、郵送とメールの両方を行う。データ送信の際はExcelファイルのまま送信すること。
(PDF変換したものは認めない)

申 込 先：〒880-1101 宮崎県東諸県郡国富町大字本庄 5071 番地 本庄高校内

吉本 剣志郎 宛 TEL 0985-75-2049

メールアドレス：kenshiro.yoshimoto@gmail.com

※件名の所に学校名を記入すること。

1 3 抽選会 10月18日（金）監督会議（ひなた武道館大会議室）にて実施する。

10：00～16：00

1 4 参加料 1人400円とする。徴収方法は、各学校の指示に従うこと。

参加料の納入は、高体連発番の文書に従い、学校単位で行うこと。

1 5 資格取得

- (1) 九州選抜高校剣道大会 団体男女各4校、個人男女各8名

1 6 その他

- (1) 男女団体ベスト8校については、宮崎県選抜高校剣道大会（宮崎剣道連盟主催）の出場資格を与える。
- (2) 男女個人戦ベスト4入賞者については、全日本都道府県対抗剣道優勝大会（全日本剣道連盟主催）県予選会出場者として推薦する。
- (3) 大会上位者を次年度、国民スポーツ大会少年の部の選手候補生として選出する（詳細については、別に定められた国スポ選手選考方法による）
- (4) 参加選手は垂に黒地に白地で校名と氏名を記入すること。
- (5) 赤・白の目印を各校持参のこと（長さ70cm、幅5cm）
- (6) 面紐は結び目より長さ40cm以下とする。
- (7) 破損・テープを巻いたりした竹刀、破れた小手などは危険防止上使用を禁止する。
- (8) 竹刀の先革先端部直径（先革を付けた状態）は、その最小径男子26mm以上、女子25mm以上とする。
- (9) 竹刀の重さは、男子は480g・女子420g以上。
- (10) 竹刀のちくとう部は、その最小径男子が21mm以上、女子20mm以上とする。
- (11) 競技中の疾病・傷害などの応急処置は主管者側で行うが、その後は日本スポーツ振興センターの規定に従って各学校で処置すること
- (12) 連絡先：申込先と同じ

※高体連大会で取り扱う個人情報については、要覧記載の「宮崎県高等学校体育連盟個人情報保護方針」に則る。